



2014年 10月 - 12月

2014年11月13日

スカイライン 次世代ターボ車「200GT-t」に 「ダイレクトアダプティブステアリング&アクティブレーンコントロール」を オプション設定

日産自動車株式会社(本社:神奈川県横浜市西区、社長:カルロス ゴーン)は11月13日、スカイライン 次世代ターボ車「200GT-t」にメーカーオプションにて「ダイレクトアダプティブステアリング&アクティブレーンコントロール」を設定し、同日より全国一斉に発売すると発表しました。



200GT-t Type SP



ダイレクトアダプティブステアリング



アクティブレーンコントロール

スカイライン 次世代ターボ車「200GT-t」は、2014年6月の発売以降、力強く低燃費で軽量な「次世代ターボチャージャー付ガソリンエンジン」の走りや躍動感のあるデザイン、全方位の安全性能などがお客さまからご好評を得ています。また、先日はその高い安全性能が評価され、JNCAPの予防安全性能アセスメントで満点の先進安全車プラス(ASV+)を獲得^{(*)1}いたしました。

今回、スカイラインのハイブリッド車に搭載されている「ダイレクトアダプティブステアリング&アクティブレーンコントロール」を、「200GT-t Type P」と「200GT-t Type SP」の二つのグレードにメーカーオプションとして設定しました。

「ダイレクトアダプティブステアリング」は、ステアリングの動きを電気信号に置き換えてタイヤを操舵する世界初のステアリングシステムで、応答遅れのないクイックなハンドリングと高い直進安定性による安心感をドライバーに提供します。さらに、「ダイレクトアダプティブステアリング」をお選びいただくことで同時に設定される「アクティブレーンコントロール」は、70km/h以上での高速走行時に車線(白線)に対する車両の向きをカメラで検知し、タイヤの角度と操舵反力を微調整する世界初の技術で、高速走行時の直進性をさらに向上しています。

今回のオプション追加により、ドライブモードセレクターの「パーソナルモード」で選択できるカスタマイズバリエーションが12通りから72通りへ拡大しました。^{(*)2} エンジン・トランスミッション・ステアリング(操舵力、操舵応答性)・アクティブレーンコントロールの組み合わせを選び、お客さまのお好みに合わせた設定を作ることができます。

また、この「ダイレクトアダプティブステアリング」は、従来にない快適・安全なハンドリング性能の実現とともに、その機構から将来の自動運転を実現するための重要な技術であるとして評価され、特定非営利活動法人(NPO)「日本自動車研究者・ジャーナリスト会議(RJC)」が主催する顕彰制度「RJCカーオブザイヤー」において、「2015年次RJCテクノロジーオブザイヤー」を受賞しました。

(*)1 平成26年10月現在

(*)2 「ダイレクトアダプティブステアリング」のオプションを選択した場合のみ

<全国希望小売価格(消費税込み)>

(単位:円)

グレード	メーカーオプション	希望小売価格
200GT-t Type P	ダイレクトアダプティブステアリング &アクティブレーンコントロール	324,000
200GT-t Type SP		

「スカイライン 200GT-t(次世代ターボ車)」の詳細情報はこちらよりご覧ください。

<http://www.nissan.co.jp/SKYLINE/>(WEBカタログ)

以上